



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本ルツボ株式会社

コード番号 5355 URL <http://www.rutsubo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大久保 正志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 坂本 信治

TEL 03-3443-5551

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,871	△2.0	157	△15.4	160	△13.4	165	21.3
25年3月期第2四半期	3,951	1.4	186	3.9	185	9.7	136	42.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 231百万円 (136.2%) 25年3月期第2四半期 98百万円 (8.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.22	—
25年3月期第2四半期	10.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	9,567	3,382	35.2	248.81
25年3月期	9,499	3,205	33.5	235.59

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,364百万円 25年3月期 3,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,950	3.3	300	△3.9	300	△12.2	230	△20.5	17.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,090,400 株	25年3月期	14,090,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	570,383 株	25年3月期	570,148 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,520,151 株	25年3月期2Q	13,520,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、財政・金融政策などの経済対策を背景に円高が是正されたことにより、輸出産業を中心に企業収益が改善するなど景気は緩やかながら回復基調で推移いたしました。しかしながら、円安による輸入原材料価格の上昇などの影響もあり、今後の経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、海外生産は伸びているものの国内生産台数回復の足取りは鈍く、依然として厳しい状況が続いております。

鉄鋼関連産業も、建設産業や自動車産業向けの需要は増加しているものの、鋼材市況軟化の影響もあり厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品及び新製品の拡販活動を積極的に推進するとともに、生産性の向上や経費削減に積極的に取り組んでまいりました。しかしながら、円安に伴う原料価格の上昇の影響もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は38億7千1百万円（前年同四半期比2.0%減）となり、営業利益も1億5千7百万円（前年同四半期比15.4%減）、経常利益も1億6千万円（前年同四半期比13.4%減）と前年同四半期比減益となりました。四半期純利益は非連結子会社の吸収合併に伴う抱合せ株式消滅差益の計上により1億6千5百万円（前年同四半期比21.3%増）となりました。

①事業の分野別業績

鑄造市場向けでは、自動車の国内生産台数の回復が鈍く、売上高は19億4千6百万円（売上高比率50.3%）と前年同四半期比13.7%減少いたしました。

鉄鋼市場向けでは、シェアの維持・拡大に努めましたが、前年には大型工事があったこともあり、売上高は6億6千3百万円（売上高比率17.1%）と前年同四半期比3.4%減少いたしました。

溶解炉・環境関連市場向けでは、工事案件の受注や炉修が増加したことにより、売上高は8億円（売上高比率20.7%）と前年同四半期比23.3%増加いたしました。

海外市場向けでは、中国および東南アジア向けの販売が増加したことにより、売上高は2億8千6百万円（売上高比率7.4%）と前年同四半期比14.4%増加いたしました。

不動産事業では、3月より売電を開始いたしました太陽光発電事業が当初予想を上回る発電量となったことにより、売上高は1億7千6百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比58.6%増加いたしました。

②事業の種類別セグメントの業績

種類別セグメント売上高は、耐火物等事業が28億3千2百万円（売上高比率73.1%）と前年同四半期比8.7%減少し、営業利益は1億8千1百万円となりました。溶解炉・環境関連市場向けのエンジニアリング事業は8億6千9百万円（売上高比率22.4%）と前年同四半期比16.3%増加し、営業利益は1億円となりました。不動産事業も1億7千6百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比58.6%増加し、営業利益は8千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比9千万円（1.5%）減少し、59億7千2百万円となりました。主なものは、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比1億5千7百万円（4.6%）増加し、35億9千4百万円となりました。主なものは、リース資産の増加及び投資有価証券の時価が上昇したことによるものです。

これにより、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、全体で前連結会計年度末比6千7百万円（0.7%）増加し、95億6千7百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比1億3千1百万円（3.2%）減少し、40億1千万円となりました。主なものは、支払手形及び買掛金の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比2千1百万円（1.0%）増加し、21億7千5百万円となりました。主なものは、リース債務の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1億7千7百万円（5.5%）増加し、33億8千2百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は35.2%（前連結会計年度末は33.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期までの業績に基づき、平成26年3月期通期の連結業績予想および個別業績予想を修正いたしました。
詳細につきましては、平成25年10月31日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[通期連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,950	300	300	200	14 79
今回修正予想 (B)	7,950	300	300	230	17 01
増減額 (B - A)	—	—	—	30	—
増減率 (%)	—	—	—	15.0	—
前期実績	7,695	312	342	289	21 40

(参考)

[通期個別業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,500	210	180	120	8 88
今回修正予想 (B)	7,500	210	180	180	13 31
増減額 (B - A)	—	—	—	60	—
増減率 (%)	—	—	—	50.0	—
前期実績	7,331	222	226	157	11 61

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。